

令和2年(2020年)12月18日
 産業労働部 産業技術課 日本酒・ワイン振興室
 柳沢由里(室長) 有坂昌平(担当)
 電話: 026-235-7126(直通)
 026-232-0111(代表) 内線2942
 FAX: 026-235-7197
 E-mail: jizake@pref.nagano.lg.jp

「信州ワインバレー構想」グレードアップ版2020の策定について



～ 目指す姿 ～

美しい風土のなかで
 高品質なワインと香り高い文化を育む
 信州ワインバレー
 — 世界が恋する、NAGANO WINE —

構想策定(平成25年3月)

生産: 長野県産ワイン用ぶどうを使用したワイン醸造を推進する
 品種: 評価が高い欧州種を中心に増産を図る
 品質: 大量生産・大量消費ではなく、高品質なNAGANO WINEとしてブランド力を高める
 地域: 地域内のワイナリーや商業施設、観光地などが連携し、特色あふれるワインバレーを形成し、観光と連携して発信していく
 消費: 県内ではワイン文化の定着を目指して消費拡大に力点を置き、大都市圏ではブランド力の向上と定着を目指して販売促進活動を実施していく

NAGANO WINE
 のブランド化

推進団体

信州ワインバレー構想推進協議会
 設立: 平成25年6月12日
 会長: 玉村豊男
 顧問: 阿部知事、山浦県経営者協会会長
 会員: ソムリエ、農業生産者団体、市町村、観光・商工団体 等

現状

1 ワイン産地の形成

- ワイナリーの設置数(日本酒・ワイン振興室調べ)
 H25(2013年) 25場 ⇒ R 2(2020年9月) 61場
- ワイン用ぶどう生産量の拡大(農林水産省統計)
 H22(2010年)産 3,645 t ⇒ H29(2017年)産 6,773 t
 (全国1位 シェア36.1%) (全国1位 シェア39.6%)
- ワインの醸造量(国税庁統計)
 H22(2010年) 3,336 kℓ ⇒ H30(2018年) 4,777 kℓ
 (全国6位 シェア3.8%) (全国5位 シェア4.0%)
- ワイン特区の認定(日本酒・ワイン振興室調べ)
 H25(2013年)3月 2地域(1市1村)
 ⇒ R 2(2020年)8月 11地域(10市6町6村)

2 プロモーション

- ワイン消費量(国税庁統計)
 H22(2010年) 4,753 kℓ ⇒ H30(2018年) 6,124 kℓ
- 成人1人当たりのワイン消費量(国税庁統計)
 H22(2010年) 2.7ℓ ⇒ H30(2018年) 3.6ℓ
 (全国平均2.5ℓ) (全国平均3.4ℓ)
- 観光入込客数(観光部統計)
 H22(2010年)35,685千人 ⇒ H30(2018年)45,185千人
- 観光消費額(観光部統計)
 H22(2010年)5,556億円 ⇒ H30(2018年)8,146億円

3 価値の向上

- NAC認定ワインを持つワイナリー
 H24(2012年)65% ⇒ R 1(2019年)45%

ワインに旅をさせない

グレードアップ項目

地域ワインバレーの取組強化

地域の特徴を活かした地域ワインバレー形成を推進
 桔梗ヶ原、日本アルプス
 千曲川、天竜川

観光分野との連携強化

小規模ワイナリーを巡るツーリズムの推進
 オンデマンド交通の導入(桔梗ヶ原、千曲川)
 ワイン列車の運行(長電、しな鉄、松電)

ブランド化に向けた取組

NACのブランドを酒類の地理的表示(GI)に継承し、ブランド化を推進
 NAC: 長野県原産地呼称管理制度

施策の展開(目標 R4年度)

1 ワイン産地の形成

1 新規参入
 栽培・醸造・販売まで、総合的に支援します

2 ぶどう栽培
 欧州系品種など、良質なぶどうの栽培を支援します

3 ワイン醸造
 創業や醸造施設の整備を支援します

4 地域内連携の推進
 地域との有機的なつながりを推進します

【数値目標】 ワイン用ぶどうの栽培面積 370ha (H23年産170ha) ワイナリー数 70場 (H23年度25場)

2 プロモーション

1 認知度向上
 イベントの開催や銀座NAGANOなどを活用して、国内外にNAGANO WINEを発信します

2 消費拡大
 商談会の開催などで、飲食店等での取扱を拡大します

【数値目標】 長野県内でのワイン購入量(成人一人当たり) 5.2ℓ (H22年度 2.7ℓ)

3 ワインをコンセプトにした観光地域づくりの推進

1 観光地域づくりの基盤の形成
 DMOなどの地域内関係者が連携し、産地をPRします

2 地域観光資源の活用
 地域の特性やワイナリーの個性を活かした観光誘客を推進します

3 地域産業との連携
 伝統工芸や食などと組み合わせた、体験型の誘客メニューを提案します

【数値目標】 都市農村交流人口 690,000人 (H23 549,210人)

4 価値の向上

1 NACとGI
 おいしさや品質の信頼性を発信します

2 原材料への産地表示の推進
 県産ぶどうの使用表示を推進します

3 ワイン文化
 ワインと食を楽しむ文化が根づくよう推進します

4 環境との共生
 醸造廃棄物の資源循環の取組を推進します

【数値目標】 原産地呼称認定(NAC・GI)ワインを持つワイナリー 30場 (H24年7月 18場)

学び

発信

観光

ブランド

良質なワイン用ぶどうから高品質なワインの生産

“世界が恋する、NAGANO WINE”をプロデュース

テロワールを体感する

誰もが憧れを抱く品質と信頼性の確立